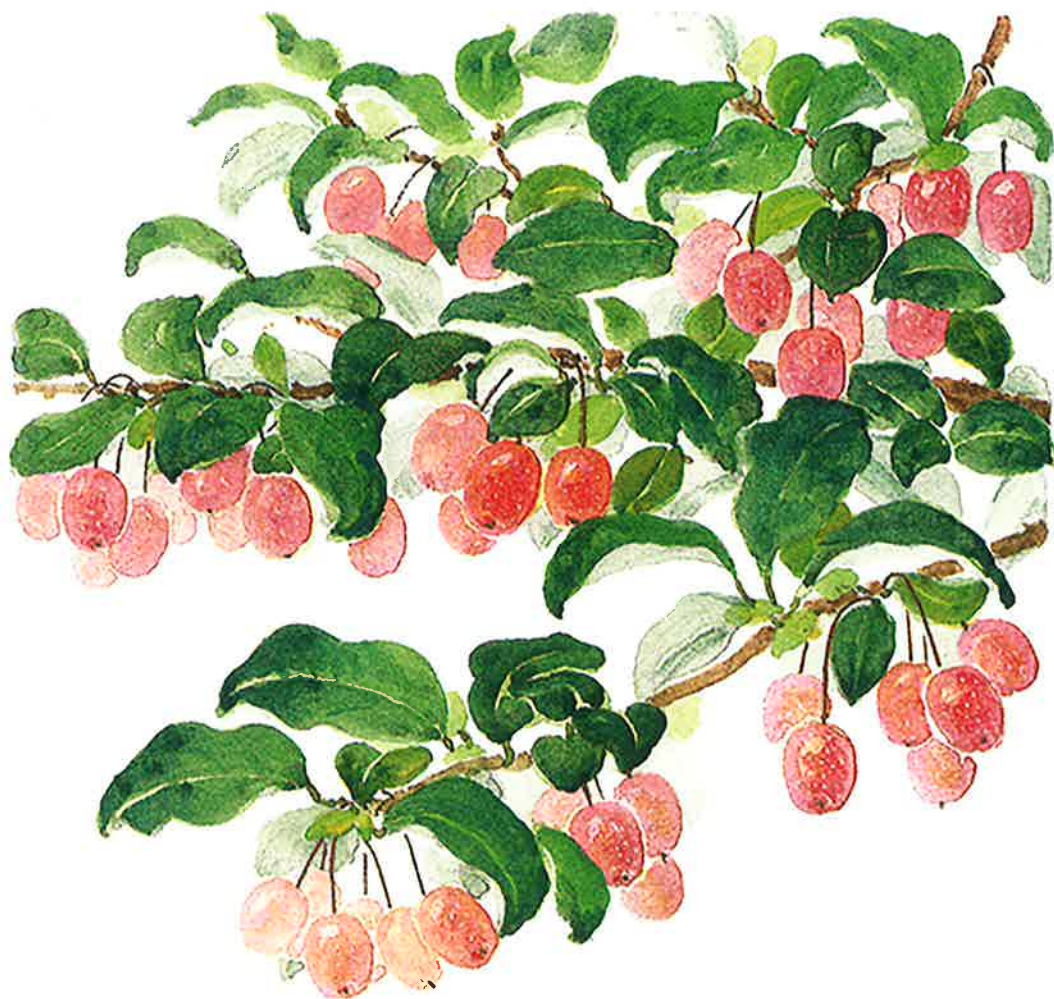


想いはここに

銀座

星野富弘 花の詩画展



私にできることは
小さなこと
感謝して
できたら
おつと
大きなことだ



2025

5/20 火 — 6/8 日 入 場 料 無

開場時間 午前10時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
日曜日: 午後1時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

主催: 銀座 星野富弘花の詩画展を開く会 共催: 日本基督教団 銀座教会

後援: みどり市 / みどり市教育委員会

特別協力: 富弘美術館

協力: 教文館/偕成社/いのちのことば社/Gakken

グロリア・アーツ/PBA太平洋放送協会/日本キリスト教団出版局

富弘美術館を囲む会東京・三田支部, 東京・神奈川支部, 軽井沢支部

協賛: 山崎製パン

会場

日本基督教団 銀座教会
東京福音会センター 1階

東京都中央区銀座4丁目2番1号

■問合せ

富弘美術館を囲む会 東京・神奈川支部

Tel: 044-833-2552 (平日午前9時～午後5時)



想いはここに 銀座 星野富弘 花の詩画展

ごあいさつ

星野富弘さんが逝去されて1年が経ちました。この度、銀座教会のご厚意によって銀座で再び「花の詩画展」を開催することができました。この度は、群馬県みどり市の富弘美術館のご厚意もあり、これまで公開されなかったいくつかの詩画も展示可能となりました。

星野さんは、思いがけない事故から困難を乗り越えて立ち上がり、多くの人たちに勇気と希望を与え続けてきた方です。その詩画には、身近にふれた花や草木を口に啜えた絵筆で描きながら、父母の愛、幼き日々の思い出、苦しみの中でも生かされていることへの喜びがにつづられています。その生涯は奇跡と呼べるのではないかと思います。

是非、星野さんの言葉に触れて、星野さんを生かしてくだっただけの方への思いを新たにしたいことを願っています。詩画に共感し、共鳴されたアーティストの方がたのミニコンサートも予定されています。この会にご協力いただき、ご協力・協賛して下さった皆さまに心から感謝を申し上げます。

銀座 星野富弘花の詩画展を開く会
会長 渡部 満 (株) 教文館代表取締役社長

イベントのお知らせ(会場：東京福音会センター地下1階)

5/25 日 午後1時30分～3時
樹脂粘土体験アート ワークショップ

講師：樹脂粘土の花野草アート協会

樹脂粘土を使って本物そっくりな「ツクシとスギナ」を作ります。はじめての方も楽しみいただけるよう準備しています！この機会にぜひ樹脂粘土アートを体験してみませんか。(作品はお持ち帰りいただけます)

材料費：2,500円(当日会場にてお支払いください)

限定8組 事前予約TEL▶ 03-6825-6830

受付時間：平日午前9時～午後5時 締め切り：5/23(金)午後5時まで



5/31 土 午後2時～3時
ミニコンサート オリーブ/伊藤真嗣

オリーブ

結成から40年。各地のキリスト教会やミッションスクールなどでアットホームなコンサートが続いている、小柳永子、東亜以子のフォークデュオ(サポートの伊藤真嗣も近年の活動に欠かせないメンバー)。人生の様々な変化の中で、その時々を思いを歌ってきた。前々作30周年記念アルバム「支えられて」に星野富弘さんの詩画に曲をつけた3曲を収録。前作9枚目は、星野富弘氏とのフルコラボレーションアルバム「たち止っていいんだよ」をリリース。そして2024年秋に結成40周年記念作「Best Friend ~ How Wonderful ~」をリリース。今作にも富弘氏の詩画4曲を収録。



6/7 土 午後2時～3時
ミニコンサート ゴスペルシンガー 神山みさ/竹下静

神山みさ

栃木県出身のゴスペルフォークシンガー。1998年モスバーガーのコンテストでグランプリ受賞。音楽事務所に所属し新宿駅前ストリートライブなどで叩きあげ、多くのファンを獲得。スペイン映画「あなたに伝えたい秘密のこと」の挿入歌にも起用。2013年ユニバーサルミュージックよりメジャーデビュー。2018年には初のエッセイも発売。今年2枚目のベストアルバムをリリース。国内外のツアー、ラジオのパーソナリティなど積極的に活動中。



竹下静

東北出身のゴスペルシンガーソングライター。東京学芸大学音楽科声楽専攻卒。卒業後ゴスペルシンガーとして活動を開始し、これまでに6枚のソロアルバムCDを発表。主にピアノ弾き語りのスタイルで、現在日本各地、また韓国にてチャペルコンサートやゴスペルイベント、故郷である東北や他被災地でのコンサート支援活動を行う。またゴスペルクワイア指導(指導歴20年以上)、学校ゴスペル講座講師等も務め、ボイストレーナーとしても活動中。



星野富弘プロフィール

1946年 群馬県勢多郡東村(現みどり市東村)に生まれる。

1970年 体育の教諭になるが、クラブ活動の指導中頸髄損傷、手足の自由を失う。

1972年 口に筆をくわえて詩や絵を書き始める。

1981年~ 雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を開始。

1982年 高崎で「花の詩画展」開催。以後、全国各地で「花の詩画展」を開催。

1991年 群馬県勢多郡東村(現みどり市)に
村立富弘美術館開館。

1994年~ ニューヨーク・ハワイ・サンフランシスコ・
ワルシャワなど海外でも「花の詩画展」を開催。

2006年 群馬県名誉県民の称号を贈られる。

2021年 富弘美術館開館30周年。
富弘美術館の入館者数が700万人を超える。

2024年 4月、逝去(78歳)。
6月、みどり市名誉市民(第一号)となる。

詩画やエッセイは教科書にも掲載され、全国で「花の詩画展」を開いた。著書多数。

主な著書

「新装版 愛、深き淵より」「新編 風の旅」「風の詩」

「詩画とともに生きる」 (Gakken)

「鈴の鳴る道」「かぎりなくやさしい花々」「速さのちがう時計」

「あなたの手のひら」「花よりも小さく」「種蒔きもせず」「足で歩いた頃のこと」

「ただ一つのものを持って」「ひと枝の花に似て」 (偕成社)

「山の向こうの美術館」

(富弘美術館・偕成社)

「新版 銀色のあしあと」「新版 たった一度の人生だから」

「新版 星野富弘 ことばの雫」「いのちより大切なもの」

「あの時から空がかわった」 (いのちのことば社)

ミュージアムショップのご案内



※会期中、出版物および詩画集商品は銀座教文館3階、特設コーナーにて販売いたします。ぜひお立ち寄りください。

※なお、平日および土曜日の午前11時から午後3時まで会場(東京福音会センター)で出張販売いたします。

会場のご案内



日本基督教団 銀座教会
東京福音会センター 1階
東京都中央区銀座4丁目2番1号

